

2 令和8年度予算概況

令和8年度当初予算は、各種事業の費用対効果を踏まえたうえで、限られた財源を有効に活用し、安全で安心して暮らすことのできる地域づくりを推進するため、効率的・効果的な予算編成を行いました。

(1) 一般会計

令和8年度一般会計の予算総額は、歳入歳出それぞれ17億9,233万5千円となり、前年度に比べて7億5,768万8千円(29.71%)の減となりました。

歳入の主なものは、構成市町村からの負担金が16億5,349万6千円で、歳入全体の92.26%を占めています。その内訳は、総務費負担金6,936万8千円、民生費負担金2,312万5千円、衛生費負担金3,749万6千円、消防費負担金14億4,254万2千円、消防施設整備負担金8,096万5千円となっています。

歳出の主なものは、消防費が15億6,522万円で、歳出全体の87.33%を占めています。その他の歳出として、議会費270万3千円、総務費9,320万円、民生費2,312万8千円、衛生費3,749万6千円、公債費6,778万8千円となっています。

詳細については次のとおりです。

① 歳入

(単位:千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	構成比
1 分担金及び負担金	1,653,496	1,611,854	41,642	92.26%
総務費負担金	69,368	68,717	651	3.87%
民生費負担金	23,125	21,315	1,810	1.29%
衛生費負担金	37,496	37,496	0	2.09%
消防費負担金	1,442,542	1,415,908	26,634	80.49%
消防施設整備負担金	80,965	68,418	12,547	4.52%
2 使用料及び手数料	2,166	2,779	△ 613	0.12%
3 国庫支出金	24,724	103,334	△ 78,610	1.38%
4 県支出金	12,784	17,004	△ 4,220	0.71%
5 財産収入	1	1	0	—
6 寄附金	1	1	0	—
7 繰越金	43,000	58,294	△ 15,294	2.40%
8 諸収入	4,863	4,456	407	0.27%
9 組合債	51,300	752,300	△ 701,000	2.86%
合 計	1,792,335	2,550,023	△ 757,688	100.00%

② 歳出

(単位:千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	構成比
1 議会費	2,703	2,649	54	0.15%
2 総務費	93,200	87,525	5,675	5.20%
3 民生費	23,128	21,318	1,810	1.29%
4 衛生費	37,496	37,496	0	2.09%
5 消防費	1,565,220	2,362,175	△ 796,955	87.33%
6 公債費	67,788	36,060	31,728	3.78%
7 予備費	2,800	2,800	0	0.16%
合 計	1,792,335	2,550,023	△ 757,688	100.00%

③ 主な事業

○消防車両整備事業

水槽付消防ポンプ自動車1台を整備し、更なる消防力・災害対応力の充実強化を図ります。

○基幹相談支援センター設置・運営事業

地域における障害者相談支援の中核的な役割を担う相馬地方基幹相談支援センターを設置して、障がい者福祉の充実を図ります。

○救急医療対策事業

休日における急病患者の医療を確保する在宅当番医制事業費、歯科在宅当番医制事業費及び休日・夜間に入院治療を要する救急患者の医療を確保する病院群輪番制病院運営事業費を補助します。

○相馬地方介護人材緊急対応事業

高校生を対象とした介護職員初任者研修や介護福祉士実務者研修を実施し、将来の相馬地方における介護事業を担う人材を育成します。

④ 住民負担金と住民サービスの概要

○住民1人あたりが負担する額 15,489 円

総務費負担金 650 円

民生費負担金 217 円

衛生費負担金 351 円

消防費負担金 13,513 円

消防施設整備負担金 758 円

○住民1人あたりの行政サービス経費 16,763 円

議会費 組合議会運営のために 25 円

総務費 組合業務全般のために 873 円

民生費 障がい者福祉向上のために 217 円

衛生費 救急医療体制のために 351 円

消防費 防災・救命救急のために 14,662 円

公債費 組合の借入金返済のために 635 円

※相馬地方の人口106,751人で計算
(人口は令和7年度普通交付税算定
に用いた人口による)

※年額

(2) 看護専門学校特別会計

令和8年度看護専門学校特別会計の予算総額は、歳入歳出それぞれ2億8,545万6千円となり、前年度に比べて2,194万1千円(8.33%)の増となりました。

歳入の主なものは、構成市町村からの負担金が2億2,812万4千円で、歳入全体の79.92%を占めています。その他、使用料及び手数料が3,166万円で、内訳は入学金や授業料などです。

歳出は、看護専門学校費が2億7,590万円で、歳出全体の96.65%を占めています。その他、公債費855万6千円となっています。

詳細については次のとおりです。

① 歳入

(単位:千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	構成比
1 分担金及び負担金	228,124	191,073	37,051	79.92%
2 使用料及び手数料	31,660	31,860	△ 200	11.09%
3 県支出金	1	1	0	—
4 寄附金	1	1	0	—
5 繰越金	25,000	40,000	△ 15,000	8.76%
6 諸収入	670	580	90	0.23%
合 計	285,456	263,515	21,941	100.00%

② 歳出

(単位:千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	構成比
1 看護専門学校費	275,900	253,954	21,946	96.65%
2 公債費	8,556	8,561	△ 5	3.00%
3 予備費	1,000	1,000	0	0.35%
合 計	285,456	263,515	21,941	100.00%